

「びわスポキッズプログラム」10周年を迎えて ：現状とこれからの展望

秋武 寛¹⁾

10th Anniversary of BIWA SPO Kids Program: Current State and the Future Outlook

Hiroshi AKITAKE

Key words : memorial book, BIWA SPO Kids festival, physical activity, step count, heart rate
キーワード : 記念誌, びわスポキッズフェスティバル, 身体活動量, 歩数, 心拍数

はじめに

本学は、2009年7月、「びわスポキッズプログラム」が創設され、2019年7月、10周年を迎える。2018年7月本学のアカデミックアワーの発表において筆者は、「「びわスポキッズプログラム」事業における身体活動量、心拍数の効果検証」の発表の時に、ご協賛頂いている幼稚園、保育園、幼保連携型認定こども園、学校ならびに企業の関係者など、みなさまのご尽力のお陰で、「びわスポキッズプログラム」が、今日10周年を迎えることを報告した。そこで、「びわスポキッズプログラム」について、10周年記念誌として、これまでの足跡をまとめてみてはいかがでしょう。」という、個人的な提案を行った。

しかしその後、スポーツ開発・支援センターの中山亮氏が、中心となり、「びわスポキッズプログラム」記念誌の作成に向けて、園、企業、本学のみなさまにご賛同いただき、発刊に向けて着手したので、その内容と経過を報告する。また2018年度に開催されたびわスポキッズフェスティバルおよび巡回指導の調査研究について報告する。

「びわスポキッズプログラム」10周年の 記念誌の作成に向けて

「びわスポキッズプログラム」10周年記念誌の目次は、以下を構想している。「1. 発刊によせて」は、本プロジェクトの創設者、ご協賛企業、本学関係者による挨拶を寄稿してもらう。「2. びわスポキッズプログラム」については、びわスポキッズプログラムの目的、ねらい、運営者会議などを、解説する。「3. 幼稚園・保育園 巡回指導」は、巡回指導の指導案を数例、幼稚園、保育園の先生方から本学学生への運動指導の反省会の様子を記載する。「4. びわスポキッズフェスティバル」は、これまでのキッズフェスティバルの開催日時、開催場所、参加人数などを報告する。また2011年の東日本大震災および2016年の熊本地震後、本学教職員および学生が、被災地に赴き、復興に向けたボランティア活動を行った後に、「びわスポキッズプログラム」を実施し、現地の子どもたちに元気を届けたことを報告する。「5. 特色ある園でのあそびの実践例」は、巡回指導を定期的に行っている約10園から、独自の視点で、運動あそびを含めて実践例を投稿してもらう。

1) スポーツ学部

「6. 幼児期の運動あそびの実践例」は、巡回指導やフェスティバル中の運動あそびの指導案をまとめる。「7. 幼児の運動能力測定方法」は、「幼児期運動指針」を策定するために、平成19年から平成21年に実施された「体力向上の基礎を培うための幼児期における実践活動の在り方に関する調査研究」で採用された幼児の運動能力測定方法を紹介し、各園でも測定できるように解説する。「8. 研究成果」は、本学教員が実施した「びわスポキッズプログラム」に関する研究について、学術論文、学会発表、本学研究紀要について紹介する。「9. キッズリーダーを経験して」は、びわスポキッズプログラムに貢献した卒業生、在学学生を対象に、キッズリーダーなどを経験した学びなどを投稿してもらう。以上のことを報告し、アカデミックアワーに参加いただいた教職員に意見、感想を求めた。

「びわスポキッズプログラム」10周年の記念誌は、2020年3月までに発刊できるように計画している。

「びわスポキッズ」フェスティバルおよび巡回指導の調査研究

1. 測定日時

「びわスポキッズフェスティバル」では、2018年9月1日第1回長浜市民体育館（長浜市）、2018年10月14日第2回水口スポーツの森陸上競技場（甲賀市）、2018年10月27日第4回本学サッカーフィールド（大津市）、2018年11月18日烏丸半島多目的広場（草津市）において、びわスポキッズフェスティバル中の運動強度、歩数、心拍数の測定を行った。

「びわスポキッズプログラム」巡回指導では、2018年10月29日大津市立S幼稚園で巡回指導を実施し、その運動プログラム中の運動強度、歩数、心拍数の測定を行った。

2. 測定項目

身体活動量（運動強度、歩数）の測定は、3軸方向の加速度計であるActiGraph

wGT3X-BT (ActiGraph, Pensacola, FL, USA, 4.6×3.3×1.5cm, 19g) を用いた。ActiGraph wGT3X-BTは、専用のベルトに固定し、右腰部に装着した。身体活動量の測定は、運動強度および歩数を測定した。

心拍数の測定は、心拍数記録装置 (Polar社製, A300, OH-1, m200, Finland) を用いて、心拍時計に記録した。心拍数のデータは、専用ソフトを用いてPCにデータを保存した後、解析を行った。サンプリング周波数は、1分間に60Hzとした。

3. 測定項目の解析

「びわスポキッズ」フェスティバルおよび巡回指導で測定した運動強度、歩数、心拍数は、解析したデータを報告した。

参考文献

文部科学省「体力向上の基礎を培うための幼児期における実践活動の在り方に関する調査研究」

http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/youjiki/index.htm (閲覧日: 2020年1月21日)

MKS幼児運動能力検査

<http://youji-undou.nifs-k.ac.jp/> (閲覧日: 2020年1月21日)

謝辞

本研究の趣旨にご理解、ご協力いただきました子ども、保護者のみなさま、園長先生、主任の先生、先生方、滋賀県教育委員会、大津市立教育委員会をはじめ各市教育委員会、滋賀県スポーツ協会、大津市スポーツ協会をはじめ各市スポーツ協会のみなさま、ご協賛くださいました企業のみなさま、本学学生に心より感謝いたします。巡回指導の研究では、大津市立志賀北幼稚園の子ども、保護者のみなさま、園長山口晴津子先生、主任青木香里先生、先生方に、心より感謝申し上げます。研究を遂行するに当たり、本学スポーツ・開発支援センター教職員のみなさまに感

謝申し上げます。渉外業務など多岐にご担当いただきました本学スポーツ開発・支援センターの中山亮氏には、多大なるご貢献を頂きました。心より感謝いたします。

付記

本研究は、びわこ成蹊スポーツ大学2018年

度学内共同研究費「幼児，児童を対象とした「びわスポキッズプログラム」開発のための基礎研究」，JSPS科研費17K13212「幼児の運動能力に及ぼす「幼児期運動指針」の身体活動量推奨値作成の基礎研究」（平成28－29年度 若手研究（B）および独立基盤形成支援）の研究助成を受けて，実施したものである。